



白門物理学會創立10周年おめでとうございます。
あつという間に10年という年月が経つてしまつたよう気がします。

そして、私が元気な時に物理学の1期生として白門物理学會設立のお役に立て

お祝いの言葉

白門物理学會創立10周年おめでとうございます。

10年

間

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

た

と

思

う

て

は

ま

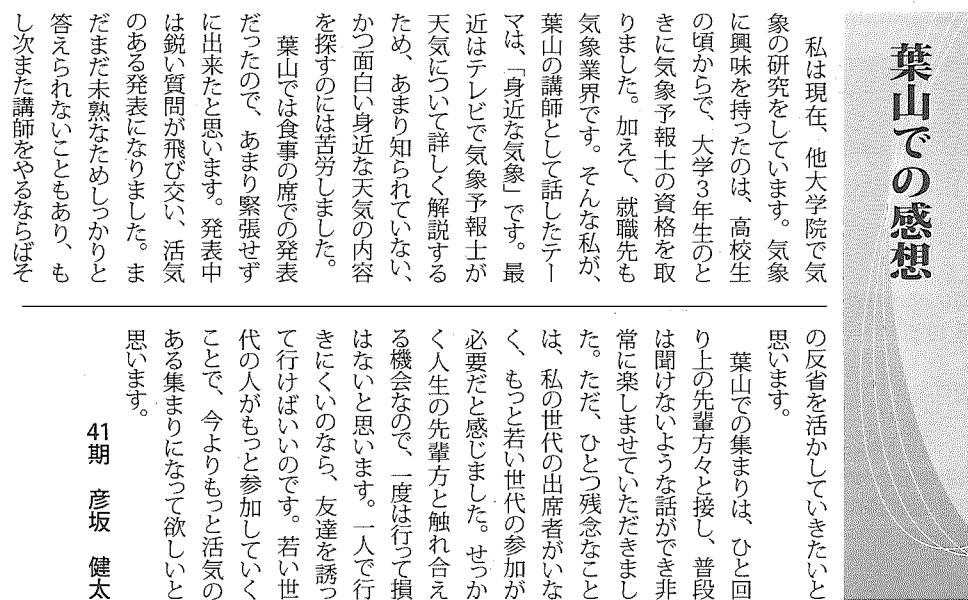
た

と

思

う

て



葉山での感想

私は現在、他大学院で気象の研究をしています。気象に興味を持ったのは、高校生の頃からで、大学3年生のときに気象予報士の資格を取りました。加えて、就職先も気象業界です。そんな私が、葉山の講師として話したテーマは、「身近な気象」です。最近はテレビで気象予報士が天気について詳しく解説するため、あまり知られていない、かつ面白い身近な天気の内容を探すのに苦労しました。葉山では食事の席での発表だったので、あまり緊張せずに出たと思います。発表中は鋭い質問が飛び交い、活気のある発表になりました。まだ未熟なため少しきりと答えられないこともあります。また講師をやるならばそ

以前から興味のあった宇宙研究所の見学ができると聞いて、勇んで参加を希望しました。

朝、秋葉原から筑波工ヶスプレスに乗っていざ出発。エクスプレスは始めての乗車でしたが、ボックス席に乗車でき、筑波までは快適な旅でした。筑波の駅周辺は思ったより都会的に思え、千葉の幕張のように、広い道路や高いビルが立ち並び、いかにも計画的に作られた街といったイメージでした。筑波の地はたくさん高度な技術者が家族で

筑波宇宙センターを見学して

居住している「知の集積された街」ということも聞きました。

駅からチャーターしていくだいたいバスでほどなく宇宙センターに到着。乗つてきたバスにガイドさんが乗り込みそのまま見学コースに出発しました。

最初に一般の見学者も入れるコースを見学しました。色々な型の宇宙ロケットや宇宙ステーションの組み立てのために、宇宙滞在用の、円筒を横にしたような操作室や、打ち上げロケットの一番下の推進装置の



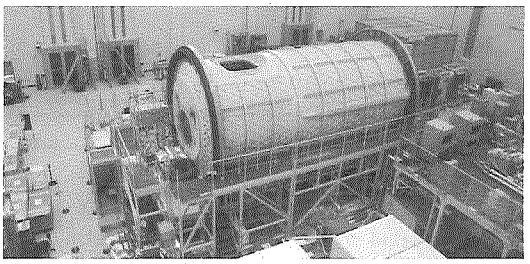
いやしロボット「パロ」と

お昼は天気に恵まれ、何組かに分かれて昼食を取りました。お昼の晴天がうそでしたが、私のご一緒にいた定食屋さんは、量もたっぷりでとても満足でした。

午後はサイエンス・スクエアつくばで、色々な装置やディスプレイが並んでる

ということや、宇宙船の周りを保護している銀色の被覆がマジックテープで付いているという説明もありました。

その後は一般的の見学コースでは入れない、予約者のみが入れる、機密に類する、「きぼう」という宇宙滞在のためのステーションの組み立て現場を、建物の上方から見学しました。土曜日でお休みだったのに、実際に動いている現場を見ることが出来てきました。見学者の中から、この装置はメートルを基準にしていて、フットを基準にしているかとの質問



「きぼう」の組み立て現場にて

問。今回は鈴木立夫さん(7期)にお願いし、乗用車、バス・トラック、建設車両、航空機などの各種タイヤメーカーとして世界にマーケットを持つグローバル企業「横浜ゴム㈱」へお邪魔しました。

【会社紹介】
商号 横浜ゴム株式会社
創立 大正6年(1917年)10月13日
資本金 389億900万円
従業員数 15,423名
本社所在地 東京都港区新橋5丁目

1963年 現在の「横浜ゴム株式会社」に社名変更しました。
【横浜ゴムでは】
材料開発から商品設計、試験・評価まで総合的かつ複合的な研究活動に取り組んでいます。その結果となっているのが、平塚製造所内の研究開発センター「RADIC(ラジディック)」。スーパーコンピュータや電子顕微鏡はもとより、ESCA(材料表面分析装置)、核遠心分離装置など、最新鋭装置を多数導入し、あらゆる角度から次代を担う新技術の開発を進めています。

また、「生きたタイヤを創造する」ために、横浜ゴムは、総合タイヤテストコース「D-PARC」(ディーパーク)と冬季用タイヤテストコース「T*MARY(ティームアリ)」において、あらゆる角度から実車テストを繰り返しています。D-PARCは、最



H-IIAロケットの前で

車の安全を支える

—横浜ゴム㈱に同窓を訪ねて—

YOKOHAMA

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

【横浜ゴムの始まりは】
1917年10月 横浜電線製造㈱(現在の古河電気工業)と米国BFグッドリッチ社との共同出資により、「横濱護謨製造株式会社」として、神奈川県横浜市に設立されました。1919年 横浜市平沼に平沼工場を建設したのをスタートに横浜工場、三重工場、平塚総合工場な

どを建設、事業規模を拡大しています。1963年 現在の「横浜ゴム株式会社」に社名変更しました。

【横浜ゴムでは】
材料開発から商品設計、試験・評価まで総合的かつ複合的な研究活動に取り組んでいます。その結果となっているのが、平塚製造所内の研究開発センター「RADIC(ラジディック)」。スーパーコンピュータや電子顕微鏡はもとより、ESCA(材料表面分析装置)、核遠心分離装置など、最新鋭装置の完成にドバッくされ、最終製品の完成に活がされています。

一方、T*MARYでは、幅20m、長さ350mの3本の直線試験路や半径20mのコーナーリング試験路などを有し、庄雪路、氷結路など路面状況に応じた走行・制動コントロールを行い、スタッフレスタイヤのナーリングなどの各性能の試験・評価を行っています。

実験部の方から施設の概要と「多角的なテストが繰り広げられるコースと遠隔操作可能なカメラによるリアルタイムな状況確認。さらにはドライバーの筋肉の収縮活動を測定し、運転のしやすさなどの感覚を定量的に評価する手法の開発により運転しやすいタイヤ開発を目指しています」との説明を受けたあと、

そこで「D-PARC(総合タイヤテスト

そこで「D-PARC(総合タイヤテスト

いよいよ実地体験です。



4期 佐々木文三

白門物理会の会報を振り返って

創刊号 1999年10月1日

- ・「設立に寄せて」
- その他、設立総会などの設立に関するもの
- ・「こうらくえん①」春日の局の像

第2号 2000年3月24日

- ・「箱根駅伝で総合三位 明日の中大を走る」
- 中央大学理工学部物理学科一年 野村佳史さんが出場
- ・「中大水泳部の強さの秘密」
- ・「こうらくえん②」水道橋駅と後楽園駅

第3号 2000年10月20日

- ・同窓を訪ねて
- 「最高のカメラに誇りを持つ」
- 株式会社ニコン
- ・「余白」(このときから掲載が始まりました)
- ・「大江戸線(都営12号線)全線開業」
- 開業したのは平成12年12月12日です
- ・「こうらくえん③」丸の内線
- ・「日本の十大発明家①」豊田佐吉
- ・「白門物理の集い」(於:葉山、このときから毎年6月に開催)

第4号 2001年4月20日

- ・同窓を訪ねて
- 「ワイドな事業展開の大日本印刷」
- 大日本印刷株式会社
- ・「こうらくえん④」小石川後楽園

第5号 2001年10月10日

- ・物理最前線
- 「水素と金属の中に発見の夢 地球中心核へのロマン」
- 深井有先生
- ・ホームページ開設
- ・「こうらくえん⑤」野球博物館・野球殿堂
- ・「日本の十大発明家②」御木本幸吉 高峰譲吉

第6号 2002年10月10日

- ・同窓を訪ねて
- 「医療テクノロジーのスペシャリスト」
- フクダ電子株式会社
- ・「都電ツアーリー」
- ・「こうらくえん⑥」水道橋(駅ではなく本当の橋です)

白門物理会が設立されてから第9号まで会報が発行されています。今までの会報に掲載された内容から主な見出しを拾つてみました。

第7号 2003年10月10日

- ・物理最前線
- 「フラクタルの美に魅せられて 自然をみる新しい力」
- 松下貢先生
- ・「こうらくえん⑦」本郷一丁目を歩く

第8号 2004年10月10日

- ・同窓を訪ねて
- 「最先端を支える誇り」
- 日立計測器サービス株式会社
(現:株式会社日立ハイテクフィールディング)
- ・「国立天文台見学」
- ・「こうらくえん⑧」文京ふるさと歴史館
- ・「日本の十大発明家③」池田菊苗

第9号 2005年10月10日

- ・物理最前線
- 「見えない宇宙が見えてくる」
- 坪井陽子先生
- ・「こうらくえん⑨」傳通院

総会の公演

白門物理会の総会では毎回、講演会を次のとおり開催してきました。楽しいものもあれば、自らの忘却の早さに嘆息させられるものまで内容は多様でしたが、いずれも楽しいものでした。

設立総会 黒澤達美先生 記念講演
第2回 吉村豊先生 中大水泳部の強さの秘密
第3回 辻井重男先生 暗号
第4回 松下貢先生 自然界に見られるパターンの仕組み
第5回 松田俊道先生 イスラム世界と日本

第6回 磯辺秀三先生 小惑星の衝突問題を考える
第7回 飯田朝子先生 数え方から見た日本語の面白さ
第8回 加賀野井秀一先生 言語学とは何か—物理学と浮世とのはざま
第9回 稲見武夫先生 ミクロな素粒子の世界から超マクロな宇宙の現象へ

会費の納入について(お願い)

「白門物理会」も活動の輪を確実に拡げつつあります。これも、会員皆様のご協力の賜と厚くお礼申し上げます。さて、会費の納入について「新しく入会を希望する方」「銀行等よりの振り込み手続きをされていない方」は恐れ入りますが下記の振込先に会費の納入をお願いいたします。

●通常会員を希望の方 金 3,000円也
但し、「白門物理会」通常会員会費として毎年徴収させていただきます。

●終身会員を希望の方 金 30,000円也
但し、「白門物理会」終身会員会費として1回限り徴収させていただきます。

振込先

郵便局を利用される方
記 号: 10040
番 号: 84063461
名 前: 白門物理会 代表者 佐々木文三
住 所: 〒112-8551 文京区春日1-13-27
中央大学理工学部物理学科内

銀行を利用される方
三菱東京UFJ銀行
店番: 231
口座番号: 0691988
名前: 白門物理会 代表 佐々木文三

編集後記

この記念すべき紙面には、学長、学部長、学科主任の先生方からお祝いのメッセージを頂きました。また、白門物理会設立時に多くの労をとられた初代会長を始め、高橋先生、滝口さん、彦坂さん、佐々木さんからも寄稿を頂きました。飯島さんは写真の提供を頂いております。ここにお礼を申し上げます。この紙面が皆様の学生時代や、今の物理学科、白門物理会を思うときの一助になればと思います。

最近感じていることのひとつに、世の中、特に企業でスピードが求められていることがあります。立ち止まって考えることは許されず、「やりながら考えろ」「間違えたらやり直せばいい」の考え方ともいえますが、ある意味、いつでもや

8期 斎藤 守夫

会計報告

平成18年度会計報告

期間: 平成18年10月1日～平成19年9月30日	(予算)	(決算)
収入の部	3,450,748	3,555,463
会費	終身会員会費(2名) 0	60,000
	通常会員会費(34名) 90,000	102,000
雑収入	寄付、利息等 0	32,715
繰越金	3,360,748	3,360,748
支出の部	465,000	226,569
総会費	謝礼 60,000	50,000
機関誌代	取材費 155,000	5,000
通信費	案内状送付等 100,000	80,720
企画補助	130,000	80,126
備品費	ゴム印等 5,000	0
消耗品費	事務用品等 5,000	2,638
事務経費	MB S手数料 10,000	8,085
残高の部	2,985,748	3,328,894

会費: 終身会員2名(山崎さん、稻見先生)

雑収入: 幹事会等からの寄付

企画補助: 物理の集い、HP他

会計 佐々木文三(第4期)印

平成18年度会計監査報告

①監査執行日 平成19年 月 日
②監査項目及びその状況 帳簿、証ひょう類、現金、預貯金とも正確である。
③その他事項はありません。

会計監査委員 関根行雄(第5期)印
関根哲郎(第13期)印

平成19年度予算案

期間: 平成19年10月1日～平成20年9月30日

収入の部	(決算)	
会費	終身会員会費 0	
	通常会員会費 30名 90,000	
雑収入	寄付、利息等 0	
繰越金	3,328,894	
支出の部	460,000	
総会費	謝礼 60,000	
機関誌代	印刷費等 150,000	
通信費	案内状、会報送付等 100,000	
企画補助	130,000	
備品費	ゴム印等 5,000	
消耗品費	事務用品等 5,000	
事務経費	MB S手数料 10,000	
残高の部	2,958,894	

会計 佐々木文三(第4期)印

～お悔やみ～

次の方の訃報に接しました。心よりご冥福をお祈りいたします。

・2007年4月20日 二宮敏行氏
元中央大学物理学科教授
結晶物理をご専攻
2001年に定年退職

・2006年12月31日 磯部秀三氏
第6回総会で講演をして頂きました。
国立天文台助教授
日本スペースガード協会理事長